

～千葉県庁での不正経理～

11月17日、県の不正経理問題をうけて、再発防止策の一つとして県幹部職員を対象に「**コンプライアンス（法令順守）**研修会が行われました。

法令を守るって、大人として当たり前のことなのに、不正をしておいて、さらに県税を使ってするなんて、おかしいなあ。

公開できるように考えてよ。

さらに、年内に**外部有識者**による「**コンプライアンス担当組織**」を設置する方針とか

これが曲者

自分達の勉強のためなのだから、受講料は自分ではらっているの？

11月20日、「**第二回 不正経理特別委員会**」が開催されました。

9月定例議会中の説明にしても、また、「不正経理特別委員会」にしても、県職員の説明には、一般企業では普通として行われているようなことに「できない」発言があったり、議員・委員の数字での返事を求めていることに対して、回りくどい言い方でごまかしとしか受け取れない返答もあり、怒りを通り越して、笑えてしまうほどでした。

（以下、不正経理特別委員会での川本さんの質問に対する答弁の抜粋）

業者側のヒアリングはあったのか？

業者から実態については聞いているが、改善策は聞いていない。

業者からヒアリングしたことの提出要求

実態についての確認なので残っていない。

伝票を整理し、監査確認事項のとおりになれば、おかしいと分かるが。

支出伝票を見れば、おかしいと思うものもある。

不正の原因が組織の自浄欠如であるなら、県民に常にオープンにすることが必要では。外部の厳しい目に頼るといような。

市民の目も入れてチェックも必要かと思うが、その余裕が無かった。これからはより具体的な改善策をし、公表する。公表には市民の方々のご意見をお聞きしたいと思う。

県民は、いかに収入を得るかを考えて働いています。県職員は其処から出された税金を使って仕事をしている事を忘れないでほしいです。

